

# カリキュラムマップ

学部・学科名	文学部 英語英米文学科
--------	-------------

## 学部の卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。文学部の教育基本方針のもと、卒業必要単位数130単位以上（基礎共通科目又は国際言語文化科目16単位 外国語科目8単位 保健体育科目2単位 専門教育科目104単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(文学)又は学士(社会学)の学位を授与します。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 世界に通用する国際教養力を有しています。
- (5) 人文科学の諸分野に関して基本的な知識を修得しています。
- (6) 自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力を有しています。
- (7) 的確な問いをたてて問題解決を図る意志と能力を有しています。

## 学科の卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。英語英米文学科の教育基本方針のもと、卒業必要単位数130単位以上（基礎共通科目又は国際言語文化科目16単位 外国語科目8単位 保健体育科目2単位 専門教育科目104単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(文学)の学位を授与します。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 世界に通用する国際教養力を有しています。
- (5) 英米文化を語るのに必要な常識と、文学、歴史学、言語学に関する基礎的な専門知識を有しています。
- (6) 「ことば」を使って論理的に思考し、他者に伝える力を有しています。
- (7) 的確な問いをたてて問題解決を図る意志と能力を有しています。

## 学科の教育課程編成・実施の方針

文学部英語英米文学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、一般情報科目、キャリア創生共通科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。特に、文学部及び本学科では、①学生一人ひとりの顔が見える少人数クラス、②基礎・応用・発展の積み上げ方式による段階的学修、③研究リテラシー、問題解決能力、専門分野の知識の3本柱による系統的学修の考え方で教育課程を編成し、実施します。また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

### 1) 教育内容

- (1) 初年次における基礎演習を必修とし、基礎的な読解力及び表現力を養成します。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。
- (3) 全学共通科目である、建学の理念と専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識を学ぶ基礎共通科目、異文化理解について学ぶ国際言語文化科目を配置します。
- (4) 英米文学・文化及び英語学についての幅広い専門科目群を選択必修とし、文学・歴史学・言語学に関する知識と理解を涵養します。
- (5) 少人数のゼミで質問力や問題解決能力などの社会人基礎力を育成します。
- (6) 多様な留学制度を通してグローバルな視点を育成します。
- (7) 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。
- (8) 卒業研究(卒業論文)により、(i) 問題を設定する能力、(ii) 資料・調査に基づき中長期プロジェクトを推進する力、(iii) それらを総合した論考を一定の長さの論文としてまとめ読み手に伝える能力を涵養し、在学中の学びの集大成とします。

### 2) 教育方法

- (1) 1)に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。
- (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習、演習などを重視したクラス編成を行います。
- (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。
- (4) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

### 3) 学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針(学科)の番号
A	グローバル社会に対応できる教養・知識・常識を身につける。	(1)(2)
B	将来、社会人として働くことを意識し、キャリア形成の基礎を固める。	(1)(2)
C	論理的な思考を通して、自分の意見を他者に有効に伝える能力を身につける。	(6)(7)
D	課題を見だし、問題解決を図る意思と能力を身につける。	(6)(7)
E	英語圏文化と日本文化を理解し、比較の視座を養う。	(3)(5)
F	英語の運用能力を身につける。	(4)(6)
G	言語学の基礎的な専門知識を身につけ、ことばを科学的な視点で分析できる。	(3)
H	文化的・歴史的背景をふまえ、英語圏の文学作品を理解する。	(3)
I	英語運用能力の他に、留学の前後に役立つ知識・能力・教養などを身につける。	(4)(7)
J	特定のトピックについてリサーチし、それを論理的に文章化する。	(6)(7)

授業科目名	単位数	配当年次	到達目標											
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
必修	英米文化・文学入門	4	1	○				○			○	○		
	英語学入門	4	1	○				○		○		○		
	基礎演習I a	1	1	○	○	○	○	○	○			○	○	
	基礎演習I b	1	1	○	○	○	○	○	○			○	○	
	基礎演習II a	1	2	○		○	○	○	○				○	
	基礎演習II b	1	2	○		○	○	○	○				○	
	Qualifying Test	2	4	○	○				○			○		
	セミナーI a	2	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	セミナーI b	2	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	セミナーII a	2	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	セミナーII b	2	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	卒業研究	8	4	○	○	○	○	○		○	○		○	
英語英米文化・文学	A群 (文化)	英米文化探訪I	2	1	○				○			○	○	○
		英米文化探訪II	2	1	○				○			○	○	○
		ブリティッシュ・スタディーズI	2	2	○		○	○	○			○	○	○
		ブリティッシュ・スタディーズII	2	2	○		○	○	○			○	○	○
		アメリカン・スタディーズI	2	2	○		○	○	○			○	○	
		アメリカン・スタディーズII	2	2	○		○	○	○			○	○	
		英米文化研究I	2	3	○		○	○	○			○	○	○
		英米文化研究II	2	3	○		○	○	○			○	○	○
	B群 (文学)	文学探訪a	2	1	○				○			○	○	
		文学探訪b	2	1	○				○			○	○	
		イギリス文学思潮史I	2	2	○		○					○	○	○
		イギリス文学思潮史II	2	2	○		○					○	○	○
		アメリカ文学思潮史I	2	2	○		○					○	○	○
		アメリカ文学思潮史II	2	2	○		○					○	○	○
英語学	英語の文法	2	2	○				○		○		○		
	英語の音声	2	2	○				○		○		○		
	英語の意味	2	2	○		○		○		○		○	○	
	英語の歴史	2	2	○				○		○		○		
	英語のレキシコン	2	2	○				○		○		○		
	英語の獲得と理解	2	2	○				○		○		○		
	英語学講座 I	2	2	○				○		○		○		
	英語学講座 II	2	2	○				○		○		○		
	英語学講座 III	2	2	○		○		○		○		○	○	
	英語学講座 IV	2	2	○				○		○		○		
	英語学研究I	2	3	○		○	○	○		○		○	○	
	英語学研究II	2	3	○		○	○	○		○		○	○	

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標										
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
リーディング・ライティング・スピーキング	C群	講読演習I a	1	1						○	○	○	○	
		講読演習I b	1	1						○	○	○	○	
		講読演習II a	1	2						○	○	○	○	
		講読演習II b	1	2						○	○	○	○	
		講読演習III a	1	3						○	○	○	○	
		講読演習III b	1	3						○	○	○	○	
	D群	英作文I a	1	1						○				
		英作文I b	1	1						○				
		英作文II a	1	2						○				
		英作文II b	1	2						○				
		英作文III a	1	3						○				
		英作文III b	1	3						○				
	E群	イングリッシュ・フォーラムI a	1	1	○		○		○	○				
		イングリッシュ・フォーラムI b	1	1	○		○		○	○				
		イングリッシュ・フォーラムII a	1	2	○		○		○	○				
		イングリッシュ・フォーラムII b	1	2	○		○		○	○				
		イングリッシュ・フォーラムIII a	1	3	○		○		○	○				
		イングリッシュ・フォーラムIII b	1	3	○		○		○	○				
英語英米文化文学その他	F群 (英語力強化)	ボキャブラリー・ビルディングI	2	1						○				
		ボキャブラリー・ビルディングII	2	1						○				
		ワークショップI a	2	2		○				○				
		ワークショップI b	2	2		○				○				
		ワークショップII a	2	3		○				○				
		ワークショップII b	2	3		○				○				
		ワークショップIII a	2	3		○				○				
		ワークショップIII b	2	3		○				○				
		時事英語I	2	1	○	○				○			○	
		時事英語II	2	1	○	○				○			○	
		C A L L I	2	2				○		○				
		C A L L II	2	2				○		○				
	G群 (留学支援)	ビジネス・イングリッシュI	1	3	○	○				○				
		ビジネス・イングリッシュII	1	3	○	○				○				
		翻訳セミナーI	2	3		○			○	○			○	
		翻訳セミナーII	2	3		○			○	○			○	
		Japan In English I	2	1	○				○	○			○	
		Japan In English II	2	1	○				○	○			○	
G群 (留学支援)	留学特別講座I	4	2	○		○	○		○	○		○	○	
	留学特別講座II	4	2	○		○	○		○			○	○	
	留学特別講座III	4	2	○		○	○		○		○	○	○	
	English Studies I	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○	
	English Studies II	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○	
	English Studies III	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○	
	English Studies IV	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○	
	English Studies V	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○	
English Studies VI	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○		
English Studies VII	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○		
English Studies VIII	2	2	○	○	○	○		○	○	○		○		
関連科目	IT基礎	2	1		○									
	IT応用	2	1		○									
	日本語教育概論I	2	1		○					○				
	日本語教育概論II	2	1		○					○				
	日本事情	2	3	○	○							○		
	比較文化論	2	2	○			○	○				○		
	社会人類学	2	2				○					○		

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標										
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
関連科目	言語イメージ論	2	2								○	○		
	イメージと神話	2	2									○		
	死生学	2	1									○		
	ジェンダー論	2	3・4	○	○		○						○	
	関西のことばと文学	2	2								○			
	地域社会論	2	2				○							
	NPO/NGO論	2	2		○		○							
	メディア文化論	2	2		○									
	国内環境教育ネットワーク	2	2		○		○							
	国際環境教育ネットワーク	2	2	○	○		○						○	
	阪神文化論I	2	1		○									
	阪神文化論II	2	1		○									
	西洋社会史	2	2	○										○
	西洋史研究 I	2	2	○					○					○
西洋史研究 II	2	2	○					○					○	

※全学部共通科目については、別ファイルで掲載しています。